

2016年4月1日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

2016年度野村グループ入社式、永井浩二グループCEO訓話要旨

入社おめでとうございます。グループを代表して、皆さんを心より歓迎します。

野村グループには、世界中で働く多くの社員がおり、その国籍は70数カ国に及びます。これらの多様な人材は野村グループ最大の財産です。さまざまなバックグラウンドや価値観を互いに認め合い、意欲ある人であれば、誰でも能力を発揮できる、野村はそういう会社です。皆さんも今日から野村グループの一員として、自身の力をこの大きなステージで十分に発揮していただきたいと思います。

皆さんが野村の一員となるにあたり、これまで野村が大切にしてきたこと、そして、これから皆さんに望むことについてお話します。

昨年12月に野村グループは創立90周年を迎えました。創業の両替商を振り出しとして、時代が大きく変化する中で野村が今日まで存続し得たのは、適者生存の理を待つまでもなく、予測すらままならない「市場」と対峙することを生業とする中で、「常に自らの変革に挑戦し続ける」という、環境変化の中を生き抜く術を身に付けてきたからです。戦後、大阪から東京に進出した時点では、野村は後発業者の一社にすぎず、我々の諸先輩が、「いつかは一流になろう」、「明日は今日より成長しよう」という「あすなる精神」、すなわち、「チャレンジング・スピリッツ」を持って業務に取り組み、今日の野村を築き上げたのです。

どうか、皆さんには、業界のリーディングカンパニーに入ったと安心しないでいただきたいと思います。決して驕ることなく、現状に安住せず、常に自らの変革に挑戦し続けること、これこそが、野村が大切にしてきたカルチャーであり、次世代に受け継いでいかなければならないDNAです。

今後、我々を取り巻く環境はこれまで以上のスピードと振れ幅で、大きく変化していくでしょう。この環境変化をチャンスとして捉え、自らの変革に挑戦し続けることをあらためて誓うべく、昨年、「90年目の変革と挑戦」というスローガンを掲げました。

10年後の創立100周年はもとより、20年後そして30年後に野村グループを主役として支えていくのは皆さんです。今日からこの「変革と挑戦」という言葉をしっかりと胸に刻んで、ともに新しい野村の未来を創っていきましょう。

以上